



多世代交流館と大間々公民館のInstagramみてね!

月刊 おおま公民館だより

令和8年2月20日 第107号
発行：みどり市大間々公民館
〒376-0115
みどり市大間々町塩原363
(みどり市多世代交流館内)
電話：0277-76-2310
FAX：0277-72-4312
Eメール：okouminkan@city.midori.gunma.jp

22種類のいろいろを体験

みどモスも一緒に体験

多世代交流館でワークショップイベント

2月15日(日)、多世代交流館を会場にワークショップのイベントが開催されました。イベント名の「ワークショップコレクション」が示すとおり、たくさんの方々が集められたイベントです。

当日は400人近い来場者が様々なワークショップを体験。みどり市マスコットキャラクターのみどモスも来場し、すべての会場を巡りました。



会場にはみどモスも。ミュージカル体験のみなさんと

最も体験人数が多かったのは、「ジジ四駆大島屋BASE」さんのミニ四駆体験でした。全長167mあまり、教室から飛び出して、廊下まで駆け巡る複雑な立体コースで、多くの方がミニ四駆の難しさと楽しさを体験しました。

2番人気は、午後から開始された和菓子づくり体験でした。大間々を代表する和菓子職人の一人である大間々青柳の小倉さんが、午年にちなんだ馬の練り切りと、うぐいす餅の作り方を熱心に指導してくださいました。

小さなお子さん向けでは、「桐生・みどり子ども食堂ネットワーク」によるうちわづくり。「子育て支援センター」と「と・ろの家」の絵本読み聞かせとあわせてたくさんの子供たちが楽しく学びました。

もの作り系では、クラフトバンド手芸(カゴ編み)でストラップづくりやかわいいシヤカシヤカキーホルダー、鹿革キーホルダー、スライム作り、ツールペイントなどが人気だったようです。

ワークショップコレクション in 多世代交流館

食べ物系では、先に紹介した和菓子のほか、唐揚げ調理実習が行われ、大人から子どもまで揚げ物のおいしそうな匂いに包まれました。また、みどり市女性会の豚汁配布も好評で、野菜たっぷり熱々の豚汁をたくさんの方が頬張っていました。

スポーツ系では、3B体操や命の貯蓄体操など、健康づくりに標準を合わせた体操のほか、ピックルボール体験が行われました。ピックルボールはアメリカなどで人気があるニュースポーツの一つで、大人と子どもが一緒に楽しむ姿が見られました。

HIPHOPダンスやミュージカルなど、体を使って表現する体験は見ていて躍動感がありました。

日本の伝統芸能として、日本舞踊を紹介する体験では、艶やかな踊りの披露や、扇子の使い方のレッスンをしていました。また、「能」の体験では、能面を装着したり、長刀を扱うなど貴重な体験が提供されました。

変わった体験としては、無施肥無農薬の野菜作り「菌ちゃん農法」のプラントーづくりや、介護の現場で活躍する「認知症マフづくり」、筆記用具の持ち方が簡単に矯正できる筆記体験がありました。



認知症マフは筒状の編み物にかわいいチャームがつきます。筒の中に手を入れると、手触りが心を落ち着けるのだそうです。

とじあな

とじあな

座学と調理実習でお酒の文化を学ぶ

としあな



先生のマンツーマン指導で上手にお料理

2月7日(土)多世代交流館の調理実習室にて、「みどりの地酒講座」全3回のうちの3回目が行われました。

まず、「赤城山」近藤酒造の近藤社長から日本酒の種類や最近のトレンド、近藤酒造での取り組みなどを学びました。

次に、銀座の料亭で修行し、現在はパティシエの星野光輝さんの指導により、酒肴の調理実習を行いました。鳴門市田柿や鮭寿司など上品で繊細な前菜料理5品に挑み、普段は料理をし

ない方も真剣に取り組んでいました。

実習後は、自分達が実習で作った肴をつまみながら、近藤酒造提供の地酒数種類を飲み比べらべ。

作り方や酒米の違いからくる味の違いを舌と香りを感じながら日本酒の面白みを感じるひとときになったようです。

また、お酒の楽しさを仲立ちに、新しい飲み友達ができた方もいたようです。

としあな

ノドント館)学芸員の田澤さん。

題材となった写真雑誌は、市民の方から東公民館に寄付されたもので、昭和最初から昭和4年まで綴られた月刊誌「歴史写真」です。

講義前半は、この中から当時の時代背景や事件、風俗の分かる写真の解説、後半は当時桐生市で起きた昭和天皇を巡る事件「昭和天皇御簿誤導事件」の紹介をしていただきました。

の堀マラソンが中止になるなど、足下の混乱もある状況下でしたが、多くの住民が投票に訪れました。

来場者には、旧福岡西小学校の卒業生もいて、「廃校前は、ここが職員室だったんだよね。」などと、懐かしがり、館内を見学する来館者もいました。

今後の選挙も当館が会場になる予定です。

調理実習室の活用

1月25日(日)ガールスカウト桐生支部「おやこでチャレンジ」調理実習室でクレープを作りました。

フライパンで生地を焼き、ホイップクリーム、果物等を入れたスイーツの他、レタス、ツナ等を入れたり、メニューは様々。

参加者の女の子たちは作って食べて良い笑顔でした。



昭和初期の雑誌を傍らに講義

昭和初期の日本の様子と桐生の事件

1月31日(土)多世代交流館にて、「昭和100年記念歴史講座 昭和初期を知る」と題し、昭和初期の写真雑誌を題材とした講座が行われました。

講師は大間々博物館(コ

心がこもった手作り味噌

保存食の優等生



大豆に塩・麴を混ぜる作業

食品加工室では、毎年この時期になると、恒例作業が始まります。

いくつものグループが味噌作りをしており、それぞれが

連続する3日程度かけて作業します。

大豆を煮る、塩・麴を混ぜる等の作業時には事務室まで麴の香りが届きます。

秋に収穫した大豆を加工し、数ヶ月の熟成を経て食卓に並ぶこととなります。

味噌は保存食として優秀な発酵食品です。手作りの味噌は風味も格別です。この伝統が長く続いていくといいですね。

多世代交流館が投票所に

2月8日(日)、多世代交流館の交流ギャラリーに投票所が開設され、衆議院議員の選出、最高裁判所裁判官の是非を問う場になりました。

多世代交流館に投票所が開設されたのは、令和元年の開館以来初めての事です。

この日は、前夜からの降雪が大雪となり、桐生では恒例



料理って楽しい♪